

自動車支部を中心に組織拡大が相次いでいるJR北海道労働組合（JR北労組）であるが、5月19日付で自動車支部琴似分会がまたしても新たな仲間を迎え入れた。これでJR北労組の組織拡大は、昨年の大会以降9人目となったが、そのうち6人が自動車支部で拡大を果たしている。

JR北労組が今月も組織拡大 大会以降、自動車支部で6人目の加入

組織拡大の絶好機活かし、呼びかけ行動の展開を！

JR北労組自動車支部は、昨年の定期大会以降、今回加入のあった琴似分会のほかにも、手稲分会や厚別分会で加入を勝ち取っており、確実にその輪は広がっている。JR北労組によると、職場での勉強会や交流会など日頃からの地道な世話役活動を通じて、組合加入はよく考えて自分の意思で決断するよう呼びかけてきた結果、JR北労組の運動に理解を示し、加入に至ったという。そして、JR北海道の民主化と働きやすく楽しい職場づくりを進めるため、「各地区本部や支部も今回の自動車支部に続いて、組織拡大の絶好機を活かし、具体的な加入の呼びかけ行動を展開し、組織拡大につなげよう」と訴えている。

鉄道特性活性化PTを中心に政策課題に取り組む！

JR北海道は、5月9日、2015年度決算と島田修社長名の談話を発表、北海道新幹線が無事開業できたことや快速エアポートの利用増などを評価しつつも、「ご利用が少なく鉄道特性が十分に発揮できない線区については、地域の皆様に丁寧に現状をご説明しご理解とご協力をいただきながら、持続可能な交通体系の実現に向けた事業範囲の見直しに全力をあげて取り組んでまいります」と抜本的な経営改革に取り組む姿勢を改めて示した。

JR北海道の信頼回復と再生のためには、JR北労組が策定した「JR北海道再生プラン」を実現し、安全第一で風通しの良い企業風土を確立することが不可欠である。さらに、JR北海道が直面する政策課題の解決にむけて、JR連合は「鉄道特性活性化PT」を中心に全力で取り組んでいく。

**安全第一で風通しの良い企業風土の確立へ
JR連合・JR北労組に結集しよう！**